

第 62 巻の広告掲載会社名および商品名

アステラス製薬	(株)	ベタニス 他	中外製薬	(株)	ゼロータ
第一三共	(株)	ネキシウム	エーザイ	(株)	パリエット
興和創薬	(株)	グラナテック	大塚製薬	(株)	エルカルチン
大塚製薬工場	(株)	ビーフリード	田辺三菱製薬	(株)	タリオン
武田薬品工業	(株)		(株) ツムラ		ツムラ六君子湯

(ABC 順)

編集委員会

編集委員長：杉 山 篤

編集委員：石 井 良 和

島 田 英 昭

津 熊 久 幸

伊 豫 田 明 三 上 哲 夫

周 郷 延 雄 高 橋 寛

瓜 田 純 久 (ABC 順)

編集後記

本号では Toho Journal of Medicine に 3 論文，東邦医学会雑誌に 2 論文，依頼論文 8 編の計 10 論文が掲載されています。

昨今，学会誌の英文誌化がいずれの診療科においても進んでいます。私の所属する日本整形外科学会雑誌もかなり前から和文誌の他に英文雑誌も発行しています。なぜ，日本にいるのにわざわざ，読むのも大変，書くのも大変な英文で書かなくてはいけないのか？誰しも若い頃は，一度は心の中に浮かぶ疑問です。それは，日本語というアジアの一国でしか使われていない言語で論文を発信しても，国外の人々の目に触れないし評価されないからです。お隣の韓国，香港，インドなどアジアの国々では学会が英文雑誌を発行していますし，著者を見ると日本人がたくさん投稿しています。

アメリカに留学中に悔しい思いをしたことがありました。研究室で行っていた研究がどうも日本の学会誌に掲載されていた内容と酷似していたため，それを指摘したところ，英文雑誌に掲載されていないのなら問題ないとはっきり言われました。つまり，どんなに優れた研究を行っても，国際的に読まれる雑誌，検索エンジンに引っかからない雑誌に掲載された場合，評価の対象外ということです。

現在，Toho Journal of Medicine は PubMed に収録され

るよう，杉山委員長を中心に努力中です。近い将来，PubMed で検索できるようになれば，皆さんの書いた論文が世界中で検索可能になります。できるだけ若いうちから英文で論文を書く癖をつけるため投稿してもらいたいと思います。若手の先生方は症例報告でも構いませんからどんどん投稿して下さい。

今後の Toho Journal of Medicine の発展に期待したいと思います。

(高橋 寛)

東邦医学会雑誌 第 62 巻 第 3 号

平成 27 年 9 月 1 日発行

編集兼 杉 山 篤
発行人〒143-8540 東京都大田区大森西 5 丁目 21 番 16 号
東邦大学医学メディアセンター内

東 邦 大 学 医 学 会

(振替口座 00190-6-95793)

tel. 03-3762-4151 ex. 2465/fax. 03-3762-5077

e-mail: igakukai@med.toho-u.ac.jp

http://tms.med.toho-u.ac.jp

東京都北区西ヶ原 3-46-10

株式会社 杏林舎